

デジタル採点システムの活用による校務の時間短縮や負担の軽減

C:職員間の情報共有

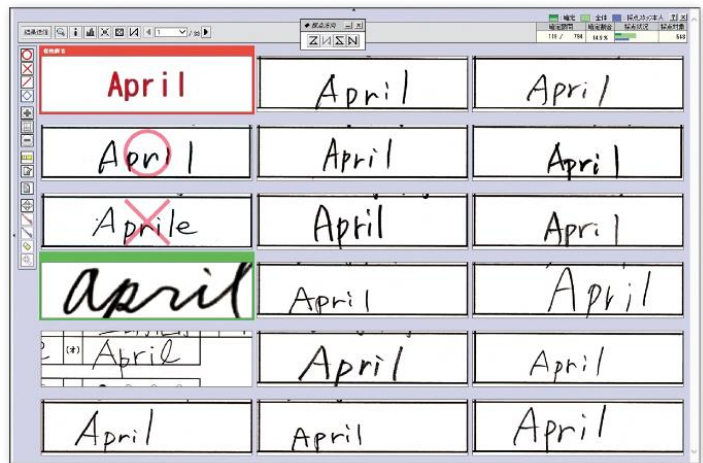
このような教員の姿が生まれました!

- デジタル採点システムの導入により、従来の採点にかかる時間を半減させることができ、採点中の集中力低下からの採点ミスを減少させることができました。
- テストの設問ごとの正答率を明らかにすることで、テスト後の指導に生かすことができました。

手軽に導入できるデジタル採点システムの活用

無料で使用できるデジタル採点システムを導入し、定期テストの採点方法をデジタル化する。

- ・ デジタル採点の導入にあたり、ICT担当を中心に研修を行い、職員へシステムの活用方法について周知を図り、知見を深めた。
- ・ デジタル採点システムについて、全校体制による一斉の切替えではなく、デジタル採点システムを活用したい職員や教科部から徐々に導入を進め、職員の考え方やそれぞれの働き方に応じて活用できるようにした。



導入を行う際のポイント

- ICT活用担当がデジタル採点システムの事前準備を進めておくことで、職員がやってみようと思った時に活用できるようにしておく。
- 学年部会や教科部会等にも協力を依頼し、先に活用している職員が、後から導入した職員に使い方を説明することで特定の担当を置くことなく活用を進めることができるようにする。

設問ごとの正答状況を明らかにし、今後の指導に生かす

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	合計	知	扶	思				知	知	知	知	知	思	扶
2	100	62	38	100				3	3	3	3	3	3	2
3	0	0	0	クラス名	番号	氏名	合計	1	1	1	1	1	2	1
77	46	34	12					0	3	0	0	3	3	2
78	88	59	29					3	3	3	0	3	3	2
79	41	32	9					0	3	0	3	0	3	0
80	23	14	9					0	3	0	0	0	3	0
81	72	46	26					3	3	3	3	3	3	2
82	47	26	21					3	0	0	0	3	3	2
83	86	54	32					3	3	3	3	3	3	2
84	59	41	18					3	3	3	3	0	3	0
85	68	55	13					3	3	3	3	3	3	0
86	36	28	8					3	3	3	0	3	3	0
87	73	52	21					3	3	3	3	3	3	2
88	63	44	19					0	3	3	3	3	3	0
89	41	24	17					3	3	0	0	3	3	0
90	54.3	37.3	17.0					1	1	1	1	1	2	1
91	100							85	85	85	85	85	85	
92								255	255	255	255	255	255	170
93								177	225	135	117	195	234	54
94								69	88	53	46	76	92	32

設問毎の正答率

デジタル採点システムを用いて採点した結果は、CSVファイルにてデータを取得し、設問ごとに分析した上で、その後の実態把握と授業改善に生かす。

- ・ テストの採点結果を一覧表として取得できるため、様々な分析が可能となる。
- ・ ICT活用担当が観点別の分析が可能な表計算ソフトのテンプレートを作成し、職員に活用を促している。
- ・ 設問ごとの正答率に応じて、テスト後に生徒へ解説する際に軽重を付けたり、当該学年の復習や次年度の指導に生かしたりする。

採点結果の活用を行う際のポイント

- テストの結果分析について、テスト結果のCSVデータを基に、より活用しやすくした表計算ファイルを作成することで、職員の誰もが負担なく分析ができるようにする。